

日本の動物の中で、絶滅の危険性が高いものを調べていると、「レッドリスト」・「レッドデータブック」というものに出会った。それは、日本の絶滅のおそれのある野生生物の種のおそれのある野生生物に掲載された種について生息状況等をとりまとめ編さんしたものが「レッドデータブック」である。これは、生物学的観点から個々の種の絶滅の危険性を評価し選定したもので、規制等はないが、絶滅のおそれのある

## レッドデータブック

動物が、ものすごい勢いで絶滅している。このままだと、今の子供が大人になるころには、4分の1ぐらいの生物がいなくなってしまうそうです。そこでどんな動物が絶滅の危機に直面しているのか、どんな理由で絶滅してしまうのかをレポートしました。

# 動物絶滅の危機

### Vol.1

## レッドデータブックのカテゴリー

「絶滅 (EX)」 我が国ではすでに絶滅したと考えられる種
「野生絶滅 (EW)」 飼育・栽培下でのみ存続している種
<絶滅危惧 = 絶滅のおそれのある種> 「絶滅危惧 類 (CR + EN)」 絶滅の危機に瀕している種 「絶滅危惧 A類 (CR)」 ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種 「絶滅危惧 B類 (EN)」 A類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
「絶滅危惧 類 (VU)」 絶滅の危険が増大している種
「準絶滅危惧 (NT)」 現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
「情報不足 (DD)」 評価するだけの情報が不足している種
付属資料「絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)」 地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群

る野生生物の保護を進めていくための基礎的な資料として広く活用されることを目的とするものである。

生物の種類（哺乳類、鳥類など）ごとに9分類に分けられ、それぞれの絶滅頻度により以下の表のようにカテゴリー分けしてある。

この中でも、「絶滅危惧 I A類 (CR)」(現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が

困難なもの。ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。)を何種類か紹介します。

哺乳類では、センカクモグラ、ダイトウオオコウモリ、オガサワラオオコウモリなど含む全一七種類。

鳥類では、ウミスズメ、ワシミミズク、オオトラツグミなど含む全一七種類。

その他の種類でも、多数の生物が「絶滅危惧 I A類 (CR)」に属しています。

日本でもこんだけの種類の生物が絶滅の危機だっているんだから、世界

新年明けましておめでとうございます。今年もNO PPO FUNの制作中です。カレンダーの作成も予定されています。NO PPO FUNの制作中ですので、お申し込みの受付は、12月までです。お申し込みは、12月までです。お申し込みは、12月までです。

### 編集後記

規模で考えたらきっとものすごい量の生物が危機をを迎えているのではないのでしょうか。調べてみたらなんと一年で四万種が絶滅しているそうです。ちなみに二〇年前は年間一千種、一〇〇年前は年間一種だったそうです。

PRIVATE